

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 岐阜県トップアスリート出前指導事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 地域スポーツ係

電話番号：058-272-1111 (内 2955)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,101千円 (前年度予算額：2,101千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,101	0	0	0	0	0	0	0	2,101
要求額	2,101	0	0	0	0	0	0	0	2,101
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・県は、「清流の国ぎふスポーツ推進計画」において「スタッフ・指導者不足の解消」を図り、併せて「学校における体力づくりの推進」を目指している。
- ・現状は、競技力向上を目的としたトップアスリートによる技術指導教室に係る支援事業のみがある。
- ・子どもの体力づくりの普及指導講座については、事業化されていないため、拠点クラブの日程や経費面の都合により実施されない場合があった。
- ・拠点クラブ側の講師派遣経費を支援することにより、開催意欲の向上及び講座回数の増加を図る。
- ・トップアスリートから直接体の動かし方を指導される機会が増えることは、スポーツに対する意欲、興味を高め、体力づくりを図ることができ、身体活動を好み、進んで運動・スポーツに取り組む子どもの育成に寄与する。

(2) 事業内容

学校の体育・保健体育授業、部活動、学校行事、またはスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等の活動場所に、指導者を講師として派遣し、各種スポーツの模範演技及び技術指導を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,101	指導者・補助スタッフ謝金、旅費等
合計	2,101	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ振興条例第9条
清流の国ぎふスポーツ推進計画

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県内の多くの子どもたちに、世界や日本のトップで戦っているトップアスリート（過去に戦っていた指導者も含む）のパフォーマンスを見せること及び指導をすることによって、スポーツに対する意欲・関心を高める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H29)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
						%
① トップアスリート出前指導実施数	173回	50回	150回	150回	150回	33%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	新型コロナウイルスの感染拡大により例年より指導回数は減少したが、50回（小学校35回、中学校6回、県立学校2回、スポ少3回、総合型4回）の指導を行い、それぞれの実態に合わせて効率よく指導を行うことができた。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	県内の多くの子どもたちがトップアスリートから指導を受けたり、パフォーマンスを見たりすることは、子どもたちに感動を与え、スポーツに関わることや、今後のスポーツに対する考え方を前向きにすることができる。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	毎年希望団体が多い。 県からの事業の案内は、上期、下期の2回行っている。リピーターだけでなく、その近隣団体からも申し込みが急増していることから、良い評判が広まっている。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	指導技術の向上により、受講者がより満足できる内容となっている。 各団体の指導者がトップアスリートの指導を目の当たりにすることにより、日常の指導者の指導技術の向上につながっている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 団体（学校等）のニーズは今後も高く推移すると予想されるが、指導者を派遣するクラブ側の時間的な負担や人力的な負担を考慮すると、今後も今年度レベルの実施数や指導水準を保ち、継続的に事業を行っていくことが必要である。 予算の都合上、全ての希望を受け入れることができない。特に、拠点クラブから遠方の団体ほど旅費が高くなるため、事業を実施できない。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後もトップアスリートが多くの団体で指導を継続して行い、子どもたちのスポーツに対する意欲を高め、体力向上を図り、スポーツ実施率の向上に繋げていく。教員や指導者向けの指導法研修会等へのアスリート派遣も検討する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	